

図書館だより

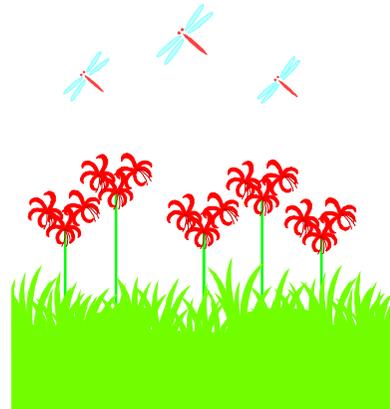


厳しい暑さの続いた夏が終わり、ようやく秋めいた気候になってきましたね。紅葉を見に出かけるもよし、秋の実りを狩りに行くのもよし、芸術を楽しむのもよし、秋は色々な場所へ出かけたくくなります。みなさんが気になるのはどんな場所でしょうか。

日高市にある巾着田では、曼珠沙華が見ごろを迎え始め、21日(土)からは「巾着田曼珠沙華まつり」が行われています。

曼珠沙華という呼び名は彼岸花の別名です。葉のない真っ直ぐな茎に、真っ赤な花が咲く特徴的な花です。巾着田では、500万本の曼珠沙華が赤いじゅうたんのように咲き広がり、神秘的な美しさを醸し出しています。

休日に家族や友だちを誘って、出かけてみてはいかがでしょうか。



秋の森へ*

706-ミ 『三鷹の森 ジブリ美術館 ファンブック』 徳間書店

小さな頃から慣れ親しんできた人もきっと多いであろうジブリ映画。その映画の世界を楽しめるのがジブリの森美術館。その魅力と、楽しみ方をたっぷりと知ることのできる1冊です。まだ行ったことのない人はもちろん、行ったことのある人も「ここにはこんな楽しみ方があったのか」と新しい発見が待っていることでしょう。また、宮崎駿さんがこの美術館に込めた思いの数々が綴られたページもあり、読んでいると、ますますジブリ美術館を好きになれます。

美術館を囲む自然も素敵なので、ぜひこの秋はこのガイドブックを読み込んで、ジブリ美術館でのんびりと癒しの時間を送っててください。

秋の花を知ってみよう*

472-コ 『四季花ごよみ 秋』 講談社

秋の季語となっている花が紹介されています。花の名と、その花の名が詠われた句を載せるだけでなく、写真、別名、名前の由来、特徴、用途など、実に様々な解説がついています。ひとつの花を調べるつもりが、隣の花も気になり、さらに別のページにはどんな花が載っているのだろうと次々にページを捲りたくなるおもしろさを持っています。掲載されている写真もとても綺麗なため、秋の花の美しさに見とれながらのひとときを送っててください。

🐟 深海展に急げ!! 🐟

上野にある国立科学博物館で行われている特別展『深海 ～挑戦の歩みと驚異の生き物たち～』の開催期間が残り僅かとなりました。連日大人気のこの深海展は、有人潜水調査船「しんかい6500」の実物大模型や全長5メートルの巨大イカ・ダイオウイカを始め、約380点の深海生物の標本など、見どころがたくさんあります。この機会に、水族館などで見るお馴染みの海の生き物たちとは違った、深海のユニークな形をした生き物たちに会いに行ってみるのをおすすめします。

699-ニ 『深海の超巨大イカを追え!』

NHKスペシャル深海プロジェクト取材班+坂元志保 || 著 光文社

深海展の見どころでもあるダイオウイカ。その生きた姿をNHKと国立科学博物館などの国際チームが動画で捉えることに成功したのは今年の1月だった。かかった歳月は、なんと10年。

忍耐を重ね、情熱を持ち続け、10年という長い歳月をかけてダイオウイカを追い求めた男たちのストーリーは、この間までダイオウイカの存在を知らなかった人の心にも響くものがあります。

そして、密かに気になるダイオウイカの味についても、その感想が述べられているので、ページを探してみてください。

🏯 出雲大社を知ろう 🏯

前回の図書館だよりでは、今年20年に一度の式年遷宮を迎えた伊勢神宮を紹介しました。今回は、同じく今年60年ぶりの大遷宮が行われた出雲大社を紹介します。

日本を代表する寺社のひとつでもあり、大きな注連縄がシンボルとなっている出雲大社。普段、私たちは「いずもたいしゃ」と呼んでいますが、正式には「いずもおおやしろ」と読みます。縁結びの神様 大国主大神(おおくにぬしのおおかみ)をまつり、毎年多くの人々が参拝に訪れています。島根県は、ここから行くのにはちょっと遠い場所ですが、一度は訪れてみたいものですよね。

175-ナ 『出雲大社』 中野 晴生 || 著 JTBパブリッシング

願いをしに訪れるその前にまずはこの本でしっかりと出雲大社のことを調べてみましょう。そうすれば、きっと願いが神様へ届くはず。

出雲大社の注連縄のこと、他の寺社とは違う参拝の仕方、おすすめの参拝コース、出雲の神様のことなど、出雲大社に関するたくさんの事柄が載っています。また、今年行われた平成の大遷宮についても触れられており、遷宮にあたり、どのようなことが行われていたのかを詳しく知ることができます。同じ遷宮でも伊勢神宮とはまた違っており、その違いに注目してみるのも興味深いかと思えます。



世界を旅する12ヶ月 ～フィンランド～



「世界を旅する12ヶ月」第5回目は、フィンランド共和国です。北欧に位置し、国土は日本より少し小さめ、その国土の大半が寒冷な気候となります。首都はヘルシンキ。森林や湖など豊かな自然が広がり、白夜やオーロラなど自然が生み出す四季折々の美しさに出会える国です。そして、ムーミンが誕生したのも、サンタクロースがいるのも、このフィンランドです。

また、フィンランド政府観光局公式ホームページを検索すると、わくわくしてくるようなフィンランドの魅力がたくさん紹介されているので、興味を持った人は覗いてみてください。

フィンランドの街を歩こう

293-チ『フィンランド かわいいデザインと出会う街歩き』ダイヤモンド社

たくさんの写真を使って、フィンランドの紹介をしています。ページを開くたびに「素敵だなあ」と心が躍ってしまうくらい、本当に街も雑貨もホテルも食べ物も全てがおしゃれで、読んでいただけで楽しくなってしまうガイドブックです。「本当にいいところなんだなあ」とフィンランドのよさが伝わってきて、行ってみたいと思う場所がたくさん見つかります。日本からは直行便で9時間半と、とても遠い国ですが、この本を読み始めると、いつか旅行してみたいという気持ちになる人も少なくないと思います。

巻末にはフィンランドの雑学も載っているので、フィンランドを知るのにも役立ちます。おしゃれな国のユニークなイベントなども載っていて、意外なフィンランドの一面も知ることができます。

フィンランドで、お・も・て・な・し！

B913.6-ム『かもめ食堂』群ようこ 著 幻冬舎

“フィンランドのかもめはどことなく、のびのびとふてぶてしく、またひょっこりしていた。このひょっこり具合が、自分と似ているような気がしてきた。”だから、お店の名前はかもめ食堂に決定！

ヘルシンキの街中にさりげなくあるシンプルな店のメニューは、フィンランド料理と手づくりのシナモンロール、そしてサチエさんこだわりのおにぎりです。おにぎりはなかなかフィンランド人に受け入れられませんが、街の人々との触れ合いを重ねていくうちに、その距離を縮めていくようです。

店主のサチエさんと、目をつぶって地図を指差した結果来たミドリさん、親の介護をしながら見た嫁担ぎレースのニュースに心惹かれて来たマサコさん。3人の独身日本女性が、自然の美しいフィンランドで人々との繋がりを大切にしながら営業しているかもめ食堂、あなたも訪れてみませんか。

フィンランドに魅せられた少女の留学記

377-タ『青い光が見えたから』高橋 絵里香 著 講談社

ムーミンの童話をきっかけにフィンランドに憧れを抱き、筆者の高橋さんが留学という夢を持ったのが小学生の時。そして、16歳でその夢を叶えます。フィンランド語もほとんど話せないまま、スタートした留学生活。日本の学校との違いに戸惑いながらも、周りの人たちの温かなサポートに励まされ、充実した学校生活を送っていきます。そして、「自分がこんなに積極的になれるなんて」と自分の行動に驚きながらも、内側に閉じこもっていた心が外の世界へ飛び出す楽しさを知っていきます。読んでみると、高橋さんの生き生きと暮らす姿が浮かんでくるようです。

初めの一步を踏み出せた時、自分の世界は大きく変えていけるんだということ、そして、フィンランドの国の人々が持つ優しさが伝わってくる本です。

フィンランド生まれのムーミンからの名言

949-ヤ『ムーミンの名言集』トーベ・ヤンソン 文・絵 講談社

世界中から愛されるキャラクター・ムーミンとロール。そのムーミンの童話の中から、ムーミンの名言を集めた本です。ムーミンの童話を読んだことがなくても、あの愛らしいムーミンの姿を思い浮かべながら読んでみると、どこか懐かしい気持ちに浸れます。原作者トーベ・ヤンソンさんの原画が挿絵に使われていて、表情豊かなムーミンがとてもかわいらしいです。ちょっとした空き時間に開いて、読むのにぴったりな本です。

このシリーズは、ムーミンパパ、ミイ、スナフキンなど、ムーミン谷の仲間たちの名言集も出ているので、合わせて楽しんでください。



図書館司書の「今月はこの本を読みました」



今月は矢崎在美さんの著書『食堂つばめ』(B913.6-ヤ 角川書店)を読みました。前号で紹介した『ランチのアッコちゃん』に引き続き、おいしそうな料理がたくさん出てくる本でした。

柳井秀晴は、食堂車でノエという女性が作ってくれた玉子サンドを食べるという変わった臨死体験をした。その行動に救われ、秀晴は奇跡の生還を果たすのだが、驚くほどおいしかったあの玉子サンドを「もう一度食べたい！」と強く願うあまり再び生死の間にある『街』へ降り立ってしまう。ノエとりょうさん、秀晴がその街で出会ったふたりの人物と共に生死を彷徨う人を料理で救っていくうちに、ひとつの真実にたどり着く。

ただおいしそうなだけでなく、出てくる料理からは、心あたたまる優しさを感じます。こんな風に誰かの記憶の中に残る料理が作れるといいなと思いました。

